



# 亀久保小だより

平成31年1月29日 (火) 増刊号

学校教育目標 ともにのびる子

一人一人を伸ばし、保護者・地域とともに歩むあったかな学校  
○あいさつ ○歌声 ○笑顔 児童数 550名

## 全国学力調査の結果分析 (国語、算数)

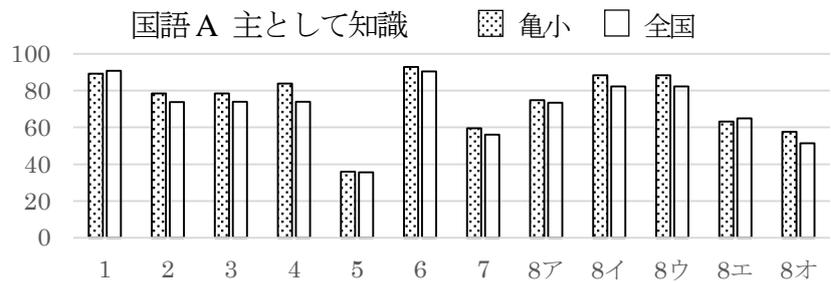
校長 村越 澄子

正門の梅がすっかりほころんでいます。最初の花に気づいたのが1月11日ですので、寒い日が続いているのに、しっかり季節は進んでいるのだと感じます。長く亀小にいる職員に聞いたところ、正門の赤い梅が最初に咲き、あとから中庭の白い梅が咲いてくるのだそうです。

さて、少し時間が経ちましたが、全国学力調査の結果の詳細をお知らせいたします。文科省から報告書も出されていますので、それを基にした分析と、既に校内で実施した研修についても報告させていただきます。

### 国語 A

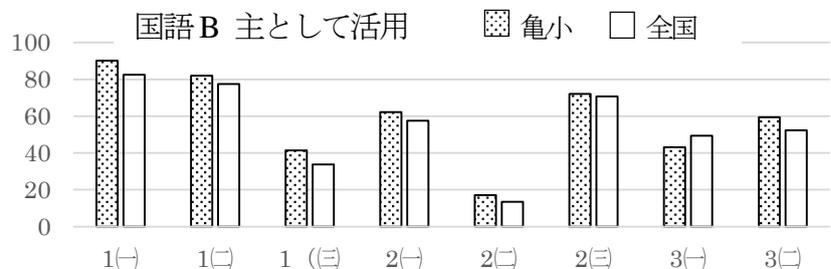
	平均正答数	平均正答率
亀小	8.9 / 12	74%
全国	8.5 / 12	70.7%



平均正答率は全国平均を上回ります。右のグラフは問題ごとの正答率ですが、問題8ア～オは漢字の出題であり、5つを合計すると全国平均を4%上回ります。ほんの僅か平均を下回った問題1は「相手や目的に応じて説明の仕方を工夫する」という趣旨の出題でした。亀小の子の優れている点が現れました。問題3「目的に応じて必要な情報を捉えて読む」、問題4「登場人物の心情について、情景描写を基に捉える」は、特に優れていて、亀小の子は読むことにより結果が出ています。

### 国語 B

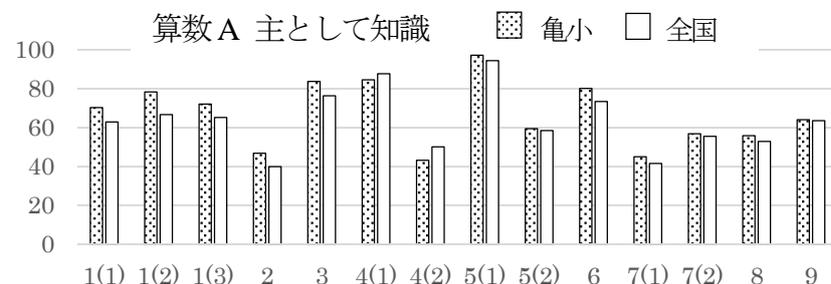
	平均正答数	平均正答率
亀小	4.7 / 8	58%
全国	4.4 / 8	54.7%



国語 B 活用についても、平均正答率は全国平均を上回ります。難易度の高い記述式の問題1(三)、は全国平均でも3割の正答率ですが、亀小は4割に達しています。最も難易度が高かった問題2(二)でも全国平均を上回ります。「目的に応じて文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む」について、とてもよくできています。唯一、全国平均を下回ったのが、問題3(一)「目的に応じて複数の本や文章などを選んで読む」でしたが、読みの力のある亀小の子が、なぜこの設問だけ正答率が低かったのか理解に苦しみます。関連するとすれば読書でしょうか。亀小の6年生の16%は、一か月に1冊も本を読んでいないというアンケート結果が出ています。

### 算数 A

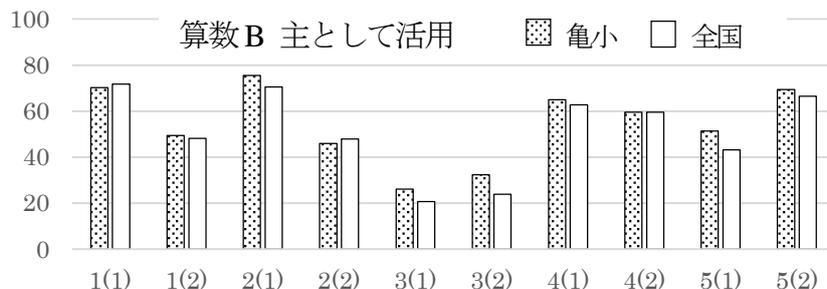
	平均正答数	平均正答率
亀小	9.4 / 14	67%
全国	8.9 / 14	63.5%



算数Aの平均正答率は全国平均を上回ります。問題ごとの正答率で見ると、ほとんどの問題が全国平均を上回りますが、課題も見つかりました。問題1はでき問題4で振るわない（数量の関係を図や数直線などに表し、1に当たる大きさを求める問題で正答率が高いにもかかわらず、単位の大きさを求める問題では正答率が低い）理由を考えました。教室訪問で気づくのですが、子供たちは算数の授業で普段から数直線を使って問題を解決しています（これは学力を伸ばすために素晴らしい学習です）。一方で、除法を使うことはわかっているも商の意味を捉えきれず、人口密度の問題で振るわなかったのは、混み具合の意味を実感的に理解することが不足していたのではないかということです。今回の結果は、授業を振り返る上でいろいろな示唆を与えてくれました。

算数B

	平均正答数	平均正答率
亀小	5.5 / 10	55%
全国	5.1 / 10	51.5%



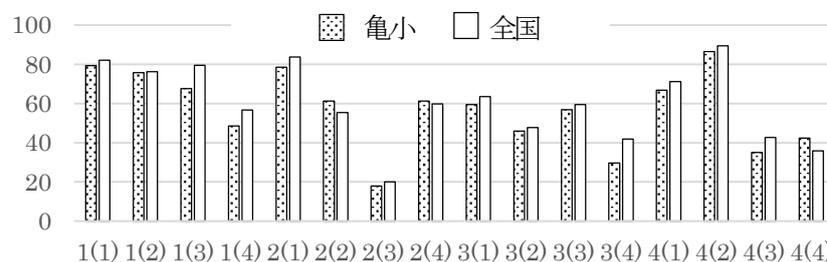
算数B活用について、平均正答率は全国平均を上回ります。問題別にみてもほとんど全国平均を上回ります。全国平均を下回った問題2(2)について解説します。この問題は、玉入れゲームを場面に「日常生活の事象の数理的な処理と解釈・判断」の問題でした。文科省の報告書では、学習指導で「日常生活の問題の解決のために、情報を収集し、それらを表に整理して、条件に合う事柄について適切に判断することができるようにする」と述べられています。算数の学びを生活に生かし、亀小の子供の未来がさらに豊かになるように、教育活動を工夫したいと思いました。

### 課題の大きい理科について

さて、ここまでは国語と算数の分析について述べてきました。問題を解いた方はおわかりと思いますが、全国学力調査は、問題文にかなりの文章量があり、問題を最後まで解き切るには集中力が必要です。この調査で全国平均を大幅上回る亀小の子供たちは優秀であります。

次に、優秀でありながらも達成率の振るわなかった理科についての分析を解説します。尚、正答率が低かったことを振り返り、既に研修も実施しておりますので、その報告も添えさせていただきます。

理科	平均正答数	平均正答率
亀小	9.1 / 16	57%
全国	9.6 / 16	60.3%



理科については、一つのテストの中に知識と活用が含まれていますので、データは一種類です。総問題数16問に対して活用問題は13問であり、活用重視であることがわかります。亀小の平均正答率は全国平均を下回りました。問題別にみても全国平均に達したものは3問しかなく、大きな課題があります。そこで、課題解決に向け、授業改善を中心とした見直しを始めました。

文科省の報告書で出題の趣旨を把握し、理科学習の過程の中の「予想」「方法」「結果」において話し合いを重視することに気づきました。また、今日の理科学習に求められる学び方について整理しました。9月27日に亀小の理科という名称で、校内研修を実施しました。授業改善は一朝一夕に進むものではありませんが、教職員と共に進めて参りたいと思います。